



【3年修学旅行】

Three days for growth ~成長のための3日間~

“これまでの学びを活かし、更なる成長の為に3日間にしよう!!”生徒会メンバーが中心となって考えたスローガンを掲げ、5月22日から3日間、修学旅行に行ってきました。これまで2年間の学びを活かし、更なる成長を目指して、約2か月間の事前の学習、そして3日間の修学旅行に臨みました。

事前の学習では、修学旅行委員会を立ち上げ、68名全員が、富士山や東京探訪、東京ディズニーランドなどの委員会に所属し、それぞれの場所で必要なこと(守るべきマナーや、必要な持ち物など)を考えました。ひとりひとりが一生懸命考え、仲間と意見を交換することを通して感性を磨こうとする姿が印象的でした。

2日目の東京探訪の舞台は日本の首都・東京。早朝のJR山手線のトラブルも重なり、歩くだけで精一杯の街を、時間通りに舞浜駅まで来ることができるのか本当に心配でしたが、当初の予定時刻15時を過ぎることなく、全員無事に到着することができました。

思い返せば1年生秋の校外学習。出発後間もなく電車にトラブルが発生しました。1年生だった当時、自分達で交通機関を利用したことのない人もいて、不安な表情を浮かべている人もみられました。そんな時でも皆さんは、不安だからこそ仲間との強い絆で支え合い、無事に淀駅まで帰ってくることができました。帰ってきた時の皆さんの笑顔と、迎え入れる学年の先生のホッとした表情を思い出します。

事後の学習では、今回の修学旅行での経験をもとに『10年後の日本の姿』を創造し、10年後に必要な資質や能力を探る探究的な学習をおこないます。修学旅行での経験と、3年間の学習の成果を、皆さんの豊かな感性で存分に表現してほしいと思います。(裏面に写真有り)

【憲法月間取組】

5月は憲法月間です。洛水中の創立記念のお話と令和13年の小中一貫校のお話をしました。また、憲法記念日をふまえ、学校や社会の中で安心して過ごすために三大原則が大切であること、憲法がなかったらどんな社会になるかという動画を活用して各クラスで憲法学習を行い、人権が守られるクラスにするために必要なことを全員で考えました。この取り組みを通して、日々の生活の中に人権を大切にすることを習慣が根付いてほしいと思います。



【生徒総会に向けて】

5月29日(木)に生徒総会に向けた学校討議を行いました。今年度は「学級」討議ではなく、「学校」討議ということで、学年の壁を越えた縦割りでの討議となりました。各教室で、決められたテーマをもとに学校をよりよくするための有意義な討議が行われました。生徒会本部役員による司会進行のもと、上級生が発表をする場面も見られ、主体的な姿がたくさん見られました。7月に行われる生徒総会が楽しみです。



6月の主な行事

- 2日～6日 授業研修週間
- 5日 代表専門委員会
- 6日 小中合同授業研修
検尿2次
- 10日 プール清掃(45分授業)
※預り金振替日
- 12日 耳鼻科検診(全)
- 16日 7月給食予約締切
- 18～20日 第1回総括テスト
避難訓練
- 26日 代表専門委員会
- 27日 小中オーケストラ鑑賞
- 30/1日 2年学習確認プログラム

7月の主な行事

- 7/3 生徒総会
- 7/4 夏季大会激励会
- 7/9 3年 高校出前授業
代表専門委員会
- 7/10 預り金振替日
- 7/10～7/16 個別懇談会
- 7/18 1学期終業式
8月給食予約締切
- 夏季休業は8/25(月)までです。
- 8/26 始業式

【2年 チャレンジ体験】

5月21日(水)から3日間、総合的な学習の時間『生き方探究学習』の一環でチャレンジ体験を実施しました。事前学習で働くことの意義やマナーについて確認し、探究課題を設定することで、目的意識をもってチャレンジ体験に臨めるよう準備をしました。当日はそれぞれの事業所で一生懸命に活動を行い、探究課題の検証だけでなくさまざまな経験や学びを得ることができたようです。生徒の皆さん、社会に出てたくさんの方々に関わることで、大人への一步を踏みだしていることを実感できましたか？お世話になった事業所の皆様への感謝の心を忘れずに、自分が大人になったときに社会に返してくれる日を楽しみにしています。今後は事後学習を進め、テーマ別発表会や学年発表会を経て、10月3日に予定されている学習発表会で全校生徒及び保護者の皆様に向けて学びの成果を発表します。成長した生徒たちの姿をぜひご覧ください。

【3年 修学旅行の一場面より】



【2年 チャレンジ体験のようす】



社会のルールやマナーを学び、守りながら、自分の力がどこまで活かせるのか、これからの学校生活や行事、そして普段の学習でもチャレンジしてほしいものです。